

中津川プロジェクト

原 順 子

(1) 仮説

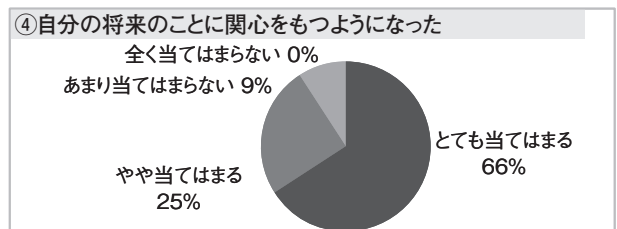
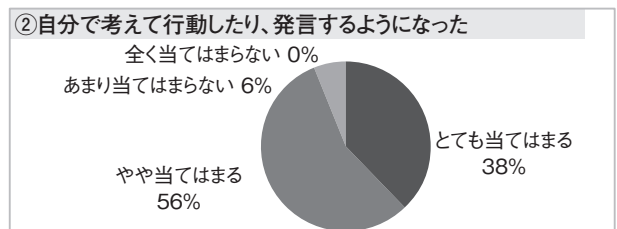
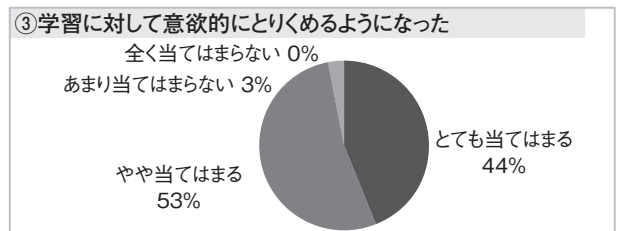
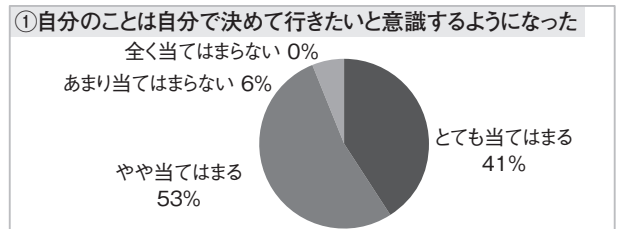
様々な分野の大学教員から講義を受けることにより、教科を超えた学問に触れ、学んだ知識を統合し、課題の本質について他者と協同しながら主体的に探究し続ける意欲を養う。

(2) 実践

日時：2018年8月6日（月）～8日（水）。場所：奥矢作レクリエーションセンター（岐阜県恵那市串原）。目的：教科を超えて学問に触れる。大学の学問と連携する。参加生徒：本校25名、留学生1名、愛知県立瑞陵高校7名、計33名。引率者：植田健男教育発達科学研究科長、本校教員5名、海外研修教員2名、看護師1名、計10名。講師：足立守環境学研究科地震火山研究CENTER特任教授根本二郎経済学研究科教授、岡崎研太郎・高橋徳幸医学系研究科教授、中東正文法学研究科教授、藤巻朗工学研究科教授、大林達夫中津川鉱物博物館館長、計7名。総計49名

(3) 評価

今年度は本校生徒だけでなく、他校（瑞陵高校）の生徒も参加を呼びかけ実施した。そのため、生徒にとっては初対面の他者と協同する学びができ、本校（大学）にとっては地域貢献が出来た。参加生徒の事後アンケート結果は以下のように例年以上の成果があった。



(文責 原 順子)